

伊集院保健所感染症情報

2024年第21週（令和6年5月20日～令和6年5月26日）

【お問い合わせ先】 〒899-2501 鹿児島県日置市伊集院町下谷口 1960-1 鹿児島地域振興局保健福祉環境部（伊集院保健所）

TEL (099) 273-2332 / FAX (099) 272-5674 / E-mail kago-kenko-shippei@pref.kagoshima.lg.jp

鹿児島地域振興局 URL <http://www.pref.kagoshima.jp/ak01/chiki/kagoshima/index.html>

● 定点把握感染症 管内警報発令：咽頭結膜熱，手足口病

定点医療機関【インフルエンザ5，小児科3，基幹定点1】

疾患名	警報基準値		注意報	伊集院保健所管内				県		
	開始	終息	基準値	第18週	第19週	第20週	第21週	先週からの増減	第20週	前週からの増減
インフルエンザ	30	10	10	0.40	0.00	0.20	0.20	→	0.58	↘
COVID-19	-	-	-	2.20	2.20	2.40	4.00	↗	4.73	↗
咽頭結膜熱	3	1	-	2.00	2.67	2.00	1.67	↘	1.84	↘
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-	4.33	2.00	7.00	3.33	↘	4.00	↗
感染性胃腸炎	20	12	-	1.33	1.33	1.00	4.00	↗	6.08	↗
水痘	2	1	1	0.00	0.33	0.33	0.00	↘	0.24	↘
手足口病	5	2	-	1.67	1.00	5.33	5.33	→	6.04	↗
伝染性紅斑	2	1	-	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.04	↗
突発性発しん	-	-	-	0.67	0.33	0.00	0.67	↗	0.39	↘
ヘルパンギーナ	6	2	-	0.00	0.00	0.33	0.67	↗	0.43	↗
流行性耳下腺炎	6	2	3	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.04	→
R S ウイルス感染症	-	-	-	0.33	0.00	0.67	0.33	↘	1.75	↗
基幹定点からの届出状況			該当なし							
インフルエンザ入院サーベイランス			該当なし							
COVID-19入院サーベイランス			該当なし							
全数報告（かっこ内は本年の累積数）			該当なし							
※警報域：太文字で赤色の塗りつぶし， 注意報域：太文字で黄色の塗りつぶし										

● TOPIC ダニ媒介感染症に注意しましょう！

春から秋にかけてマダニの活動が盛んになり，人も野外での活動が多くなり，重症熱性血小板減少症（SFTS）等のダニ媒介感染症の発生が多くなります。

SFTS（Severe Fever with Thrombocytopenia Syndrom）の潜伏期は，6～14日間です。臨床症状は，発熱，消化器症状（嘔気，嘔吐，腹痛，下痢，下血）を主とし，ときに，腹痛，筋肉痛，神経症状，リンパ節腫脹，出血症状などを伴います。

血液所見では，血小板減少（10万/mm³未満），白血球減少（4000/mm³未満），血清酵素（AST，ALT，DHL）の上昇が認められます。

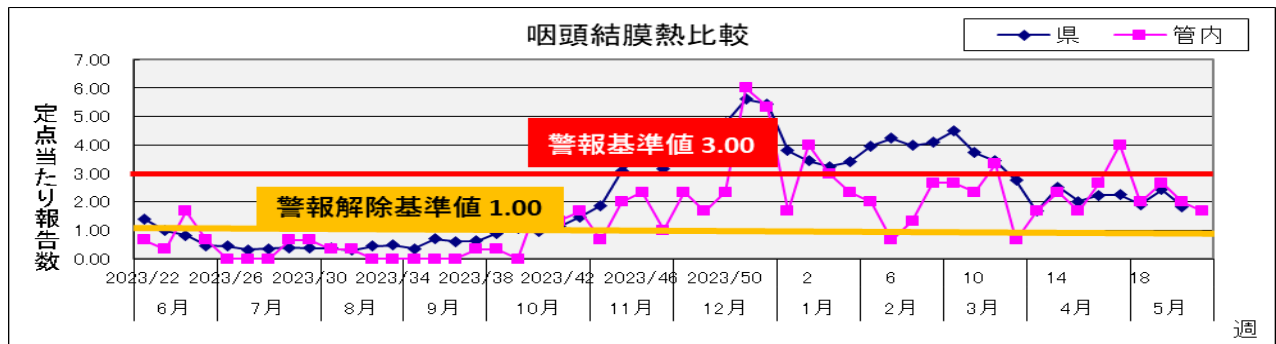
治療は，対症療法です。

ダニ媒介感染症は感染してからの治療よりも，ダニにかまれないための対策が重要です。

草むらや藪などに入る場合には，長袖・長ズボン，足を完全に覆う靴を履く等，肌の露出を少なくし，虫除け剤を使用するなど効果的な対策をとりましょう。

● 注意すべき感染症

● 咽頭結膜熱（管内警報発令中！）

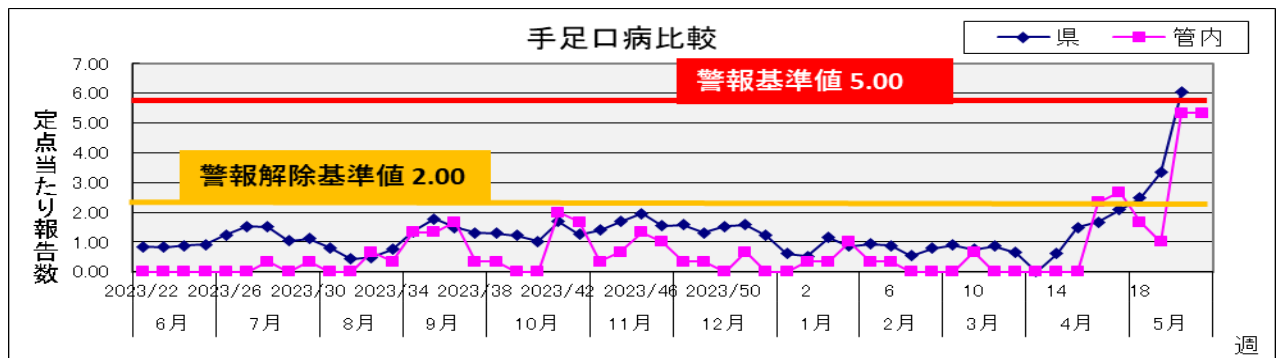


今週の伊集院保健所管内における咽頭結膜熱の報告数は、前週の6人（定点当たり2.00）から1人少ない5人（1.67）でした。年齢別では、2歳・4歳（各2人）、3歳（1人）でした。

咽頭結膜熱は、アデノウイルスによって起こる疾患で、発熱、咽頭炎、眼症状を主とする小児の急性ウイルス性感染症です。通常、飛沫感染、あるいは手指を介した接触感染であり、結膜あるいは上気道からの感染です。

予防法は、感染者と密接な接触を避け、流行時には流水とせっけんによる手洗い、うがいを励行することです。

● 手足口病（管内警報発令中！）



今週の伊集院保健所管内における手足口病の報告数は、前週の16人（定点当たり5.33）と同じでした。年齢別では、1歳（12人）、2歳（2人）、3歳・4歳（各1人）の順に多い報告でした。

感染すると、3～5日後に、口の中、手のひら、足底や足背などに水疱性発疹が出ます。発熱は約3分の1にみられますが、あまり高くないことがほとんどであり、高熱が続くことは通常はありません。ほとんどの発病者は、数日間のうちに治る病気です。

飛沫感染、接触感染、糞口感染（便の中に排泄されたウイルスが口に入って感染すること）が知られています。特に、乳幼児が集団生活をしている保育施設や幼稚園などでは集団感染が起こりやすいため、注意しましょう。

一般的な感染対策として、接触感染を予防するために手洗いをしっかりとすること、排泄物を適切に処理することです。

○学校における感染症による出席停止の状況5/20～5/26（出典：学校等欠席者・感染症情報システム）

今週の出席停止は、インフルエンザB型が1人、水痘が1人、溶連菌感染症が3人、手足口病が1人、その他アデノウイルス感染症が3人、COVID19が11人報告されています。

自治体名	疾患名	インフルエンザB型	水痘（みずぼうそう）	溶連菌感染症	手足口病	その他アデノウイルス感染症	新型コロナ感染症
日置市		0	0	1	1	0	10
いちき串木野市		1	1	2	0	3	1
三島村		0	0	0	0	0	0
十島村		0	0	0	0	0	0
計		1	1	3	1	3	11